

職場で活かせる/ スーパービジョンの 役立つ知識と 使える技術

新連載



vol.1 | まずは、始めよう

本誌「読者アンケート」で、主任ケアマネジャーさんたちの約7割が、スーパービジョン（以下SV）の実施に関して悩んでいると聞きました。法定研修で一応は学んだものの、ご自分がスーパーバイザーになる自信がもてないということなのでしょうか。しかし、実践なしには、主任ケアマネジャーとしての成長はありません。まずは、「職場内スーパービジョン」を実践していきましょう。

さて、SVが実施できない要因には、スーパーバイザー（以下バイザー）側の悩みと、スーパーバイジー（以下バイジー）側の抵抗があります。それらの正体がわかれば、その対策も立てやすくなります。



役立つ知識1

●バイザーとしての不安と誤解

私は、バイザーの実践を重ねながら、多くの後輩たちをバイザーとして育ててきました。そのときに聞こえてきた「バイザーとしての悩み」の多くは、バイザーを務めることへの「不安」でした。

[スーパーバイザーの不安]

- 単発の研修で学んだ知識だけでは、現場での実践の仕方がわからない
- バイザーをやっているのだが、これでいいのだろうかと悩む
- 職場内にSVの体制がなく、SVをやらうとしても1人で空回りする
- 事例を検討するSVの時間をもつことになったが、事例を出す者がいない
- とにかく自信がない

また、SVへの誤解も悩みの背景となっていました。

バイザー側の悩み

たとえば、「SVのための特別な時間がとれない」といった誤解が、職場内SV開催へのハードルを高くしていたのです。

●職場内スーパービジョン体制を知る

まずは、誤解を改めましょう。職場内SV体制とは、特別な時間を設けて事例検討をすることとイコールではなく、以下の3要素（表）のどれかがあればSVとなり得ます。これらはまさに、SVが果たす3つの機能です。

表 職場内スーパービジョン体制の3要素

求められる内容	SVの機能
①ケアマネジャー一人ひとりの業務の内容が組織としてマネジメントされている	管理的機能
②必要な教育的な支援を受けられること（外部での支援も含む）	教育的機能
③日々の業務上のジレンマや困難を組織が理解し、支持を受けられる	支持的機能

ケアマネジャーの成長に不可欠なスーパービジョンを日常の風景にしていくためには、職場内での体制づくりが決め手です。さあ、職場内スーパービジョンを始めましょう。

取出涼子 医療法人社団輝生会
本部人材育成局部長（研修統括）



Toride Ryoko
人工透析クリニック、北里大学病院SWを経て、医療法人社団輝生会初台リハビリテーション病院入職。SW部門チーフ、SWCM部門統括を経て現職。認定医療社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員



使える技術1

スーパービジョンの棚卸し

●すでにスーパービジョンは行っている

棚卸しには、人の現況や過去の行動などを調べるという意味もあります。組織内で管理的立場にある人が今まで行ってきた行動を調べてみれば、「すでにSVを行っている」ことに気づくでしょう。特別な時間枠を設けなくても、管理職や主任ケアマネジャーなど、管理的な立場にある人が、スタッフからケアマネジメント業務についての報告を受けたり、相談に乗ってれば、それはSVです。「実施の仕方がわからない」「これでいいのかと悩む」「自信がない」と不安を感じ、SVに対して尻込みしている人も、すでに、何らかのSVをやっていることを意識してほしいと思います。

●組織や管理者が「宣言」する

職場内SV体制の出発点は、日常業務のなかの報

告や相談、それに基づく承認やサポートを、「スーパービジョンである」と組織や管理者が宣言することです。

そうすることで、バイザーもバイジーも、意識や態度が変わってくるものと考えます。そのうえで、たとえば、次のような方法でも職場内SVを始めることは可能です。

[職場内スーパービジョンの始め方（例）]

- 職場では、管理的SVと支持的SVを中心に実施し、教育的SVは外部に任せる
- 外部で受けたSVは職場内で報告してもらい、職場にどう取り入れるかを検討する
- 外部のバイザーを招き、勉強会を開催する方法もある
- 定例の会議に、事例報告や事例検討を組み入れる

【実践のヒント】

職場内で「スーパービジョンの宣言」をする際のバイザーのトーク例を紹介します。

[スーパービジョンの宣言トーク（例）]

■「私たちの事業所のスーパービジョン体制を皆さんとつくりあげていくことを提案します」

■「利用者についての報告や相談をすることを、これからはスーパービジョンと位置づけたいと思います」

■「皆さんがこれまで利用者さんからのクレームを報告してくれたり、困難事例をモニタリングの前に相談してくれたりしたことは、実は、スーパービジョンのもつ管理的機能でした。これからは、スーパービジョンであることを意識し、相談や報告をしてくれた場合は、皆さんの報告内容を組織として承認して、皆さんの業務をバックアップしていくようにしたいと思います」

